

Sex Differences in Coronary Artery Calcification Score and its Use as a Predictor of Progression of Diabetic Nephropathy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 豊永, 愛子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032649

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3061 号	氏 名	豊永 愛子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	新田 孝作	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本研究の目的は、2型糖尿病患者において、冠動脈疾患と腎症進展との関連を明らかにすることである。</p> <p>冠動脈石灰化スコア(CACS)を評価した2型糖尿病患者107名(男性71名、女性36名)を対象とした。男女別に低CACS群、高CACS群の2群に分類した。冠動脈CT施行後1年ごとに腎症の評価を行い、腎症病期の進展をエンドポイントとした。</p> <p>男性において、経過観察後5年の累積腎症進展率は高CACS群52.8%であり、低CACS群22.9%に比較し有意に高率であった。網膜症のない男性で、高CACS群は低CACS群と比較し腎症の進展が高頻度であった。女性では高CACS・低CACS群間の腎症進展率に有意差を認めなかった。</p> <p>男性ではCACS高値と腎症の進展が有意に関連していたことより、腎症進展の要因として動脈硬化の影響が女性と比較して強い可能性が示唆された。網膜症の合併がない罹病期間が短い糖尿病男性では、細小血管障害よりも動脈硬化が腎症進展に寄与した可能性が考えられた。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の1週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表)【学校教育法学位規則第8条】</p>			